

第46回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：令和3年7月28日（水） 14：00－16：00

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井座長、常田座長代理、関委員、永田委員、永原委員、山崎委員

(2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

河西局長、岡村審議官、坂口参事官、吉田参事官

(3) 関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課

福井課長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

佐々木理事

石井理事

國中理事

JAXA宇宙科学研究所（ISAS）

藤本副所長

中村教授

(4) 大学関係者

秋山演亮 和歌山大学教授

4. 議事要旨

(1) 今後10年の月面活動における宇宙科学の取組について

JAXAから資料1を用いて、(1)世界をリードする成果の創出が期待される月面科学の3領域、(2)持続的な月面探査と月面利用の拡大に不可欠な月面環境情報の取得並びにそれに基づく環境予測モデル（予測方法）の構築を募集課題とする「月面での科学研究・技術実証ミッションにかかるFSテーマ」の公募についての説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。

(○：意見等)

○できるだけ幅広いテーマについて選定されるのが望ましいと考える。

○(2)のテーマに関しては、データの活用が重要となってくる。データの取得に加えてデータの活用も含めたアイディアが募られることを期待したい。

○月面活動に関しては、今後10年間は科学を中心となって進めていくこととなっている。今回のFSにおいても面白い提案があれば、今後10年間の活動に反映していくのではないか。

(2) 宇宙科学・宇宙探査及び小型衛星コンステレーション時代における人材育成について

JAXAから資料2を用いて、JAXAにおける人材育成の取組について、ISASから資料3を用いて、産学官の人材育成への宇宙実践の場による貢献の提案について、ISASの中村教授より資料4を用いて、大学を中心と

した宇宙人材教育プログラムについて、和歌山大学の秋山教授より資料5を用いて、宇宙関連の人材育成の検討についての説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。
(○：意見等)

- 司令塔機能、事務局機能が重要との説明だったが、政策立案やルール作りなどの全体像を描く機能とオペレーションを行う機能は分けて検討するべき。
- 宇宙分野の人材育成については受け皿が乏しいことが問題であり、国内に多くの拠点が存在することが重要。どの大学でどの分野が強いのかを明確にすることが必要。
- 先を見据えて世界の流れ（環境、IT、新素材等）をターゲットにした民間にとっても魅力のある人材育成プログラムが必要ではないか。
- 航空・宇宙の学科は限られているので、他の専攻の卒業生なども巻き込みオーガナイズすることが重要ではないか。
- 日本では宇宙の産業化がまだ進んでいない。大きな衛星を1機打上げて終わりではなく、これから的小型衛星コンステレーション時代において、研究者養成だけではなく高専、大学生など研究者のタマゴも入ってくることのできる人材育成の仕組みを考えるべきではないか。

以 上